

1 基本項目	事務事業名	国際交流推進事業			担当部署	課名	地域協働課	
	予算事業名	国際交流推進事業				係名	市民交流係	
	事務区分	自治事務			予算科目	電話番号	0765-23-1131	
	事業期間	開始年度	平成5年度	終了年度		当面継続	会計	一般会計
	総合計画	目標名	基本目標1 にぎわい、活力あるまち			アウトソーシング導入状況	款	総務費
		政策名	5 交流と連携によるにぎわい創出				項	総務管理費
		施策名	10 多様な交流の推進				目	一般管理費
基本事業名		10-3 国際交流の推進			導入予定なし			
根拠法令				総合計画等への記載	総合計画に主要事業として記載			

2 事業概要	事業概要	国際交流、国際社会との共生を目指し、国際交流事業を企画し、また、民間団体、市民間で進められる様々な国際交流事業の支援に努める。
	対象	市民
	手段(活動指標)	国際交流事業の企画・実施
意図(成果指標)	外国人との交流が深まる。 国際感覚が豊かになる。	

3 指標	指標名	単位	26年度		27年度			28年度
			計画	実績	計画	実績	達成率	計画
活動指標	① ハロウィン参加人数	人	150	170	150	150	100.0%	150
	② 国際交流推進員事案件数(派遣、紹介、打合せ)	回	13	6	10	6	60.0%	
	③ 国際交流フェスタ参加人数	人	150	110	100	100	100.0%	100
	① 国際交流推進員として登録する者	人	18	18	18	18	100.0%	18
	② <small>国際社会への理解・交流が深まり、市民が豊かになり、進出しやすい環境が定着していることによる市民の増加</small>	%	18.0	15.7	20.0	16.2	81.0%	22.0
	③							

4 コスト情報	区分	単位	26年度		27年度			28年度
			予算現額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
支出内訳	①需用費	円	112,000	76,210	47,000	43,950	-42.3%	180,000
	②委託料	円	100,000	100,000	100,000	100,000	0.0%	150,000
	③工事請負費	円						
	④負担金補助及び交付金	円	507,000	467,500	507,000	346,500	-25.9%	207,000
	⑤その他	円	112,000	23,760	57,000	30,000	26.3%	505,000
	支出合計(A)	円	831,000	667,470	711,000	520,450	-22.0%	1,042,000
財源内訳	①国庫支出金	円						310,000
	②県支出金	円						
	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円	38,000	62,092				335,000
	⑤一般財源	円	793,000	605,378	711,000	520,450	-14.0%	397,000
	収入合計	円	831,000	667,470	711,000	520,450	-22.0%	1,042,000
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	1	1	1	1	0.0%	1
	②年間所要時間	時間	800	800	800	800	0.0%	800
	③人件費(②×@ 4,200円)(B)	円	3,360,000	3,360,000	3,360,000	3,360,000	0.0%	3,360,000
	総費用(A+B)	円	4,191,000	4,027,470	4,071,000	3,880,450	-3.7%	4,402,000

5 取組内容	平成27年度に取り組んだ事務事業の内容及び改善内容	
	<p>○「国際交流サロン」の開催(平成24年度より実施) 実施日:平成27年8月1日料理編 参加者18名 平成27年9月17日講座編 参加者42名 平成28年1月30日料理編 参加者13名 ○ALT同士の交流、ALTを含む外国人と市民が交流するため 「バーベキューinミラージュランド」を開催 実施日:平成27年8月22日 参加者26名</p>	

6 評価	評価の視点	H26評価	H27評価	評価項目	評価結果	評価の理由	
						1次評価	2次評価
妥当性	妥当性	A	A	自治体関与の妥当性	1 妥当である	公共性が高く市による実施が妥当	
				目的の妥当性	1 妥当である	国際交流社会との共生を目指し事業を実施・支援するのは妥当	
				対象の妥当性	1 妥当である	外国人との交流が深まり、市民全体の国際感覚が豊かになるので妥当	
有効性	有効性	B	B	目標達成度	2 目標どおり	80%以上100%以下なので目標通り	
				類似事業の有無	1 なし	類似事業はなし	
				上位施策への貢献度	2 普通	貢献しているが、普通	
効率性	効率性	B	B	コスト効率	1 高い	最小限のコストで実施している。	
				実施主体の適正化	2 改善の余地あり	市民や民間との協働による事業実施により改善できる。	
				負担割合の適正化	1 適正である	市の負担割合は適正	
	1次評価(課長総括)	B	B	事業の進め方・内容について改善の余地あり	2次評価	不要	
	後の評価(課題及び今後の方針)	時代にあった国際交流の支援を検討していく必要がある。				評価結果	